

## ＜予約について＞

**Q：予約を取りたいのですが**

A：お電話・メールにて予約を承っております。もしくは受付窓口へお越しくださいませ。

**Q：土日祝日は検診は受けられますか？**

A：土日祝日、盆休み（8/15）、年末年始（12/29-1/3）は休診しております。

（宿泊ドックにつきましては土曜日検査終了しご退院いただくコースがございます。）

**Q：費用・検診コースについて**

A：自費、もしくは健康保険組合との契約で料金が異なりますので、お問い合わせください。

コースは、日帰り・宿泊（1泊2日・3泊4日・5泊6日）がございます。

**Q：どのくらい前に予約をすればよいですか？**

A：数か月前に満席になる場合もございますので、ご希望のお日にちがありましたらなるべく早めにご予約いただくことをお勧めします。また、ご利用の健康保険組合により事前の申請が必要な場合がございますので十分に余裕をもってご予約下さい。

**Q：変更・キャンセルはいつまでに連絡すればよいですか？**

A：ご都合が悪くなった時点で、早目のご連絡をお願いいたします。（ご入院の方につきましてはキャンセル料をいただく場合がございます。）

**Q：保険証は必要ですか**

A：検査の際、生検を実施する場合は、保険診療に切り替わりますので必ずご持参ください。

**Q：外国人の受け入れは行っていますか**

A：受け入れております。しかし、日本語対応が難しい場合は、必ず医療通訳資格者のご同行をお願いしております。

**Q：事前のご案内・キット等はいつ届きますか**

A：ご受診の1か月前を目安にお送りしております。万が一届かない場合はご連絡ください。

## ＜検査について＞

**Q：検査時間は、どれくらいですか**

A：日帰りドックは7：45開始、14時頃終了が目安となります。宿泊ドックは1泊2日  
3泊4日、5泊6日のとなっております。（当日の混雑状況やオプション検査の追加で終  
了時間が変動します。ご了承ください。）

**Q：健診当日に風邪などで体調が悪い時はどうすればよいですか？**

A：健診を後日に延期されることをおすすめしています。  
日程の変更は可能ですので、お電話でご連絡ください。

**Q：食事制限はありますか**

A：採血・採尿・腹部超音波・上部/下部消化管検査の場合は食事制限がございます。詳しく  
お問い合わせいただくか、前に発送されますご案内にてご確認ください。

**Q：薬はいつもどおり服用していいですか**

A：糖尿病治療薬は、絶食を要する検査前の服用は低血糖を起こす危険性があるため中止い  
ただいております。血液をサラサラにするお薬は、内視鏡検査時に生検を実施する場合が  
ございますので、かかりつけ医の了承の上、検査日の1週間前より服用を中止いただき  
ております。

**Q：採血に不安があります。（気分が悪くなったり倒れたりしたことがある）**

A：リラックスして採血検査をお受けいただけるよう、ベッドで横になっての採血をご案内さ  
せていただきます。ご予約時に受付スタッフにお申し付けください。（受診日当日にも、  
遠慮なく案内係にお申し出ください）

**Q：採血時に、採血管を何本も変えるのはなぜですか？**

A：当人間ドックでは、通常4本に分けて採血しております。生化学・内分泌・血清学・ウイ  
ルス学用：9ml、血糖用：2ml、血算用：2ml、血沈用：2mlと計15mlの採血量となります。こ  
のように、採血用試験管を目的により変えるのは、試験管内にそれぞれ異なる薬剤が入っ  
ており、採血後の血液の保存方法が異なるためです。

**Q：胃カメラと胃透視（バリウム検査）はどう違いますか**

A：上部内視鏡検査（胃カメラ）：経口または経鼻を選択できます。経鼻カメラは、カメラを鼻から入れるため口がふさがれず検査中でも医師との会話が可能であり、嘔吐感がないなどメリットはあります。しかし、経口カメラの方が、より鮮明な画像で観察できるのでピロリ菌感染およびピロリ菌除菌後の胃がんリスクの高い方、またはより確実な内視鏡をご希望の場合は経口カメラをお勧めいたします。

上部消化管X線造影（胃透視・バリウム）：バリウム（造影剤）を飲んで食道、胃、十二指腸の状態を調べます。ただし、異常が見つかった場合には胃カメラでの再検査が必要となりますので当院のドックでは胃カメラをお勧めしております。

**Q：内視鏡検査時、眠って検査はできますか**

A：鎮静剤使用での検査は少なからず呼吸停止のリスクが報告されております。当院では基本、鎮静剤なしでの検査を実施しております。しかし、過去に反射が強かった方、医師が必要と判断した方は、鎮静剤使用での検査にて対応しております。（鎮静剤使用での検査後はお車の運転は出来かねます。公共交通機関等のご利用をお願い致します。）

**Q：PET/CT や胸部レントゲンなどを短期間で実施することで安全性はどうなっていますか**

A：ごく少量ですが放射線被ばくがあります。その被ばく量は人体にほとんど影響のないごく微量です。尿からの排泄もあり翌日にはほとんど体内に残りません。

**Q：生理中・授乳中・妊娠中いずれかの場合の検査はできますか**

A：生理期間中の方：尿検査・便検査・子宮がん検査は後日ご案内させて頂いております。

授乳中の方：マンモグラフィーは、お受けできません。

妊娠中の方：胸部レントゲン・胃透視検査・マンモグラフィー・CT・骨塩定量など放射線被ばくの可能性がある検査、および内視鏡検査（胃カメラ・大腸カメラ）MRI・MRAは実施していません。また、妊娠中の方の採決結果は異状がなくとも基準値外の数値が出る場合がありますのであらかじめご了承ください。

**Q：生理中の子宮頸部細胞診検査ができないのは、なぜですか**

A：子宮頸部細胞診検査は、小さなブラシで子宮頸部と子宮口をこすり、細胞を採ります。生理中はブラシに血液がついてしまい頸部の細胞をしっかりと採取することができない場合があります。このため、子宮頸部にがん・炎症などが起きていても「異常なし」という結果が出てしまう可能性があります。したがって生理中の検査は避けることをお勧めいたします。

**Q：子宮摘出後でも子宮がん検査は必要ですか**

A：膣断端細胞診を実施します。

子宮がんに比べると頻度は低いのですが、まれに外陰がん、膣がんなどが発見される場合もあります。

**Q：婦人科は女性医師、技師でしょうか？**

A：膣超音波・マンモグラフィーにつきましては、女性技師が担当いたします。

子宮がんの検査は曜日や時間によって男性医師の場合もございます。

**Q：豊胸手術をしているのですが、乳腺の検査に支障はありますか？**

A：マンモグラフィー検査は実施できませんのでご了承ください。

**Q：腫瘍マーカー検査を受ければがんの心配はないですか？**

A：腫瘍とは、細胞の一部が異常分裂し増殖してしこりになる物で、腫瘍が全てがんというわけではありません。腫瘍には良性と悪性があり、悪性腫瘍をがんといいます。

体の中に腫瘍ができると、健康な時にはほとんどみられない特殊な物質がその腫瘍によって大量に作られ、血液中に混在し始めます。この物質を腫瘍マーカーと呼んでいます。マーカーとは指標を表し、その腫瘍マーカーは腫瘍ができる臓器によって物質が異なるため、目的に合わせた検査が必要になります。

腫瘍マーカー検査で基準値を超えていたときは、念のため精密検査を受けることをお勧めいたします。腫瘍マーカー検査は一種のふるい分けの検査として大変有用な検査で人間ドック施設ではほとんどの施設が取り入れている検査ですが、検査の性質上、必ずしもがんが特定できる検査ではありません。

**Q：検査当日に検便を2本揃えることができません。**

A：検査精度の向上のため、できるだけ新しい便を2本持参いただくことをお願いしていますが、便の出にくい方は2～3日前程度の便でも検査可能です。1本でも検査自体は可能ですので、1本だけでもご提出をお願いします。後日のご提出も受け付けております。

**Q：健診や人間ドックの後はすぐに日常生活に戻れますか？**

A：上部内視鏡検査（胃カメラ検査）などを受診いただく場合は、飲食をされるまでに1時間ほど時間を空けていただいております。また組織検査（生検）を行った場合は、刺激物、激しい運動はご遠慮いただいております。詳細については予約時や受診時にお尋ねください。

**Q：バリウムを飲んだ後、白い便が出ません。**

A：来るだけ水分をたくさんとってください。

お腹を暖めたり、少し腸を動かすように軽くお腹をマッサージしたりすると良いでしょう。お手持ちの下剤があれば追加して飲まれても構いません。また、白い便でなくても便が出ていれば大丈夫です。

症状が強く我慢できなかったり、心配でしたらご連絡ください。

**Q：採血の後が青くなってきたのですが大丈夫ですか？**

A：内出血によるものと思われます。時間とともに青くなっている部分が少しずつ下方に移動して多少黄色がかって吸収されていきます。タオルなどで暖めると吸収が良くなります。

**Q：婦人科細胞診後出血がとまらないのですが？**

A：細胞を採取したために、少量の出血が見られる場合がありますがほとんどは心配りません。持続する場合や出血量が多くなる場合には健診センターまでご連絡ください。

**Q：レントゲン検査を受けた後妊娠していたことがわかったのですが大丈夫ですか？**

A：一般的に照射量としては問題ありませんが、主治医にご相談ください

**Q：結果はいつ分かりますか**

A：受診日当日、結果説明を行っております。生検、細胞診など結果に時間を要するものにつきましては、後日お電話もしくは報告書にてお知らせいたします。

**Q：人間ドックはどのくらいの周期でうければいいの？**

A:原則として1年に1回のご受診が望まれます。

## ＜その他＞

**Q：当日は何を持って行けば良いですか？**

A：受診日当日にお持ちいただく物

- ・診察券（当院のご受診がある方）
- ・健康保険証
- ・人間ドック質問票・各検査同意書・検便容器（事前にご自宅へご送付いたします）
- ・健保組合様、会社様発行の利用券や受診券等がある場合は必ずお持ちください。
- ・定期内服薬
- ・眼鏡・コンタクト/コンタクトレンズケース（装着されている方）
- ・過去の健診結果（当院以外で検診をされた際の健診結果）

**Q：人間ドックを受ける際の服装はどういったものが良いでしょうか？**

A：検査着をご用意しております。

ご用意している検査着のサイズは男性用・女性用それぞれS～3Lです。お体に合わない場合はご自身で着替え（動きやすく、金属・刺繍等のないもの）をご用意ください。

**Q：お支払いについて**

A：お支払いは、現金もしくは下記のクレジットカードをご利用になれます。

VISA、JCB、MASTER、DINERS、AMEX（JCBのみ分割払い不可）

商品券・ギフト券はご利用いただけません。

**Q：駐車場はありますか**

A：病院併設の立体駐車場をご利用ください。無料券を配布いたします。

**Q：食事のアレルギーがあるのですが**

A：アレルギー対応食をご用意いたします。ご安心ください。

**Q：画像をいただくことはできますか**

A：画像をご用意することは可能です。別途料金が発生します。予約時や受診時にお尋ねください。

**Q：子連れで受診は可能ですか**

A：お連れいただくことは可能ですが、検査室には入れません。お一人で待つことが出来るのであれば大丈夫です。お一人で待てないお子様ですと、どなたかお付添いの方が来ていただければご受診いただく事は可能です。

**Q：保険会社や勤務先に提出する所定の用紙に転記できますか**

A：予約時にお申し出をいただき、所定の用紙をメールやFAXで送付をお願いいたします。用紙を拝見し、対応の安否を判断させていただきます。

**Q：人間ドック期間中に外来を受診したい**

自由診療と外来診療の同日受診はお控え頂いております。（人間ドックの検査結果にて外来受診に緊急を要する場合は除きます。）

**Q：たばこは吸えますか**

A：敷地内全面禁煙となっております